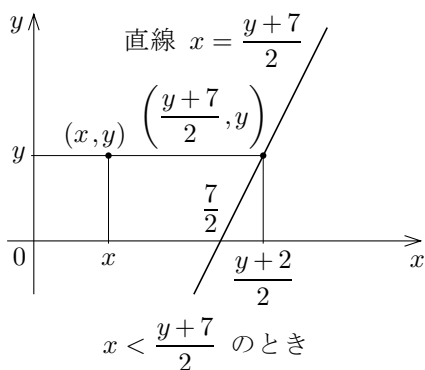
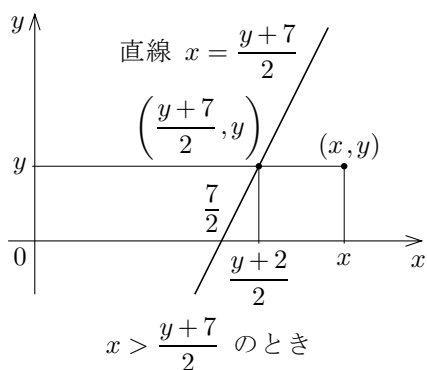
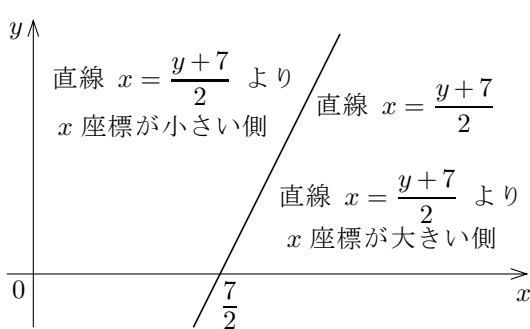


§6.2 関数のグラフを境界とする領域

例解 xy 座標平面において、方程式 $x = \frac{y+7}{2}$ で表される直線より x 座標が大きい側と x 座標が小さい側とがあります。各実数 x と y について、点 (x, y) が直線 $x = \frac{y+7}{2}$ より x 座標が大きい側にあるか x 座標が小さい側にあるかを考えます。



これらの図から分かるように次のことが成り立ちます:

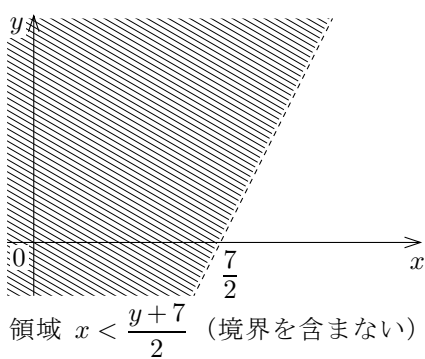
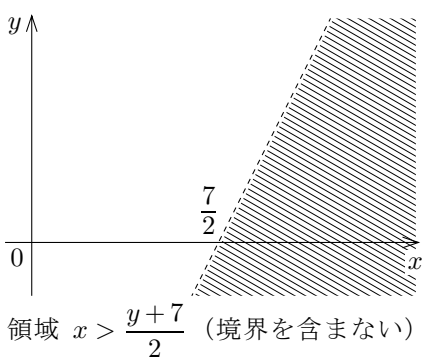
$$x > \frac{y+7}{2} \iff \text{点 } (x, y) \text{ は直線 } x = \frac{y+7}{2} \text{ より } x \text{ 座標が大きい側にある ;}$$

$$x < \frac{y+7}{2} \iff \text{点 } (x, y) \text{ は直線 } x = \frac{y+7}{2} \text{ より } x \text{ 座標が小さい側にある .}$$

このことより次のようになります:

・ 不等式 $x > \frac{y+7}{2}$ が表す領域は直線 $x = \frac{y+7}{2}$ より x 座標が大きい側の全体である;

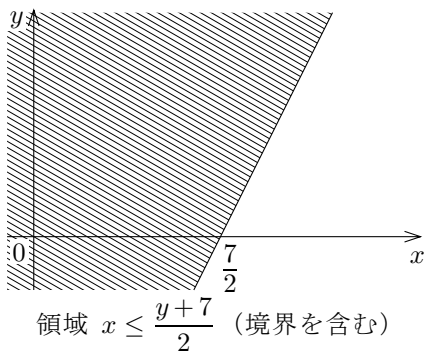
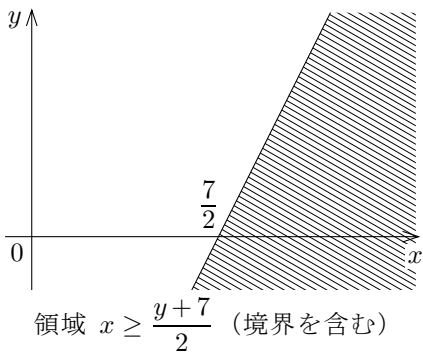
・ 不等式 $x < \frac{y+7}{2}$ が表す領域は直線 $x = \frac{y+7}{2}$ より x 座標が小さい側の全体である。



更に次のようになります:

・ 方程式 $x = \frac{y+7}{2}$ と不等式 $x > \frac{y+7}{2}$ とを併せた不等式 $x \geq \frac{y+7}{2}$ が表す領域は直線 $x = \frac{y+7}{2}$ とそれより x 座標が大きい側とを併せた全体である;

・ 方程式 $x = \frac{y+7}{2}$ と不等式 $x < \frac{y+7}{2}$ とを併せた不等式 $x \leq \frac{y+7}{2}$ が表す領域は直線 $x = \frac{y+7}{2}$ とそれより x 座標が小さい側とを併せた全体である。



終

一般的に述べると次の定理になります。

定理 6.2 関数 f に対して、 xy 座標平面において方程式 $x = f(y)$ が表す図形について以下のことが成り立つ。

(1) 不等式 $x > f(y)$ が表す領域は方程式 $x = f(y)$ が表す曲線より x 座標が大きい側の図形である; この領域は境界を含まない。

(2) 不等式 $x < f(y)$ が表す領域は方程式 $x = f(y)$ が表す曲線より x 座標が小さい側の図形である; この領域は境界を含まない。

(3) 不等式 $x \geq f(y)$ が表す領域は方程式 $x = f(y)$ が表す曲線とそれより x 座標が大きい側とを併せた図形である; この領域は境界を含む。

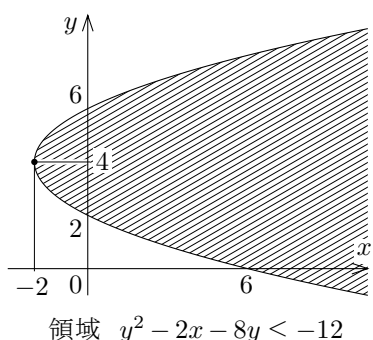
(4) 不等式 $x \leq f(y)$ が表す領域は方程式 $x = f(y)$ が表す曲線とそれより x 座標が小さい側とを併せた図形である; この領域は境界を含む。

xy 座標平面では、通常は x 軸を右向きにします; このとき、 x 座標が大きい側とは右側のことになり、 x 座標が小さい側とは左側ことになります。

例題 xy 座標平面において不等式 $y^2 - 2x - 8y \leq -12$ が表す領域を図示する。

$$\begin{aligned} y^2 - 2x - 8y &\leq -12 \\ \iff 2x &\geq y^2 - 8y + 12 \\ \iff 2x &\geq (y-4)^2 - 4 \\ \iff x &\geq \frac{1}{2}(y-4)^2 - 2. \end{aligned}$$

不等式 $y^2 - 2x - 8y \leq -12$ が表す領域は、方程式 $x = \frac{1}{2}(y-4)^2 - 2$ が表す放物線とそれより x 座標が大きい側とを併せた全体である。



終

問題 6.2.1 xy 座標平面において不等式 $y^2 - 4x + 6y + 5 > 0$ が表す領域を図示しなさい。

問題 6.2.2 xy 座標平面において不等式 $y^2 + 2x - 6y + 5 \leq 0$ が表す領域を図示しなさい。